

事業実績シート（研修及び調査・研究）

1 事業の概要

協会事業名	<input type="checkbox"/> 研修機関派遣事業（ <input type="checkbox"/> 市町村アカデミー <input type="checkbox"/> 国際文化アカデミー <input type="checkbox"/> NERC） <input checked="" type="checkbox"/> 地方4団体研修及び調査・研究事業			
自治体(団体)事業名	①国際協力機構と長崎県町村会の連携事業に係る調査 ②都市・農村共生社会創造シンポジウム事前打ち合わせ			
所管局部課	自治体(団体)名	所管部・課名	担当者名	連絡先(TEL)
	長崎県町村会	総務課	山崎 裕梨佳	095-827-5511
事業期間	開始年	①：平成27年8月、②：今回のみ		
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他[]			
実施期間	(開始日) 29年1月19日		(完了日) 29年1月20日	
委託した場合の委託内容	委託先機関名		担当者名	連絡先(TEL)
	(委託内容)			
研修及び調査・研究の目的 ※実施前に予想していた目標・目的を記載ください。	対象(誰を・何を)		目標・目的	
	対象：長崎県町村会職員		①グローバルに活躍できる人材の育成のために、途上国が抱える課題解決を支援している国際協力機構と本会との連携事業について調査すること。 ②都市と農村の共生に関するシンポジウムを開催し、農村の新たな発展について考える機会を提供すること。	
研修及び調査・研究の具体的内容 ※事業をまったく知らない人でも、事業の実施内容や実施方法の概要が分かるように記載してください。	1. 日 時 平成28年1月19日(月)～1月20日(火) 2. 場 所 ①独立行政法人 国際協力機構(東京都) ②全国町村会館(東京都) 3. 内 容 ①国際協力機構と長崎県町村会の連携事業に係る調査 ②都市・農村共生シンポジウムに係る事前打ち合わせ 4. 参加者 事務局3名			
研修及び調査・研究の背景、これまでの経緯及び現状	(事業開始の背景)			
	①グローバル化の進展に伴い、自治体職員には多様な文化や価値観を理解する力や国際的な課題やその背景等読み解く力などを身につけ、国際的な広い視野の涵養を図ることが求められるようになった。 ②農山漁村に対する都市住民や若者の関心の高まりを田園回帰と捉え、都市と農山漁村が共生するための条件を長崎県内外の動向を捉えながら、移住者、若者などとともに考える。			
	(経緯・現状)			
	①東京のJICA本部を訪問し、JICA職員と今後の本会との事業連携について意見交換を行った。 ②シンポジウムの講師及び全国町村会職員とシンポジウムの流れ、講演、パネルディスカッション等内容について打ち合わせを行った。			

事業実績シート（研修及び調査・研究）

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算				
事業費（円）		-	-	184,200円				
(財源内訳)	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	市町振興共同事業助成金	-	-	122,800円				
	一般財源	-	-	61,400円				
指標名		指標設定の考え方		単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
目標・目的指標	① 視察により得た情報の数 (1) JICA職員の研修講師としての派遣について (2) 各国の行政官（研修生）等の長崎県内8町視察（短期研修）の可否について (3) 本会副町長及び町職員等の行政調査先の相談について (4) グローカル協力隊の受け入れについて	今後の人材育成に係る連携等に関する情報が得られたかどうか			目標			4
					実績			4
				目標達成率（%）				100
	② 打合せにより得た情報の数 (1) シンポジウムの流れ（プログラム内容） (2) 講演内容について (3) パネルディスカッション内容について (4) その他諸事項について	シンポジウムに関する打ち合わせが出来たかどうか			目標			4
					実績			4
				目標達成率（%）				100

3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 実施することによるメリット
	<p>(内容、程度等)</p> <p>① 今回の視察では、JICAと本会と連携して実施できる事業等について意見交換を行った。 現状で実行しやすいと思われる事業、今後市町村と協議が必要と思われる事業等、今後の展望について検討することができ、非常に有意義な視察となった。 今後、実際に事業を実現させるために更なる協議が必要であると考えている。</p> <p>② シンポジウム開催に向け事前打ち合わせをすることにより、シンポジウム内容の充実を図ることができた。</p>

事業実績シート（研修及び調査・研究）

4 有効性の点検、実現性の点検

有効性の点検	(1) 目標（目的）指標の達成状況	
	<input checked="" type="checkbox"/> 目標（目的）指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標（目的）指標の実績値は、目標を下回った	
実現性の点検	(2) 実施前、想定していた目標・目的が達成できた理由またはできなかった理由	
	全員参加により、有意義な情報の共有ができた。	
実現性の点検	(1) 事業への反映	(具体的内容)
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は事業（実務）に反映できる <input type="checkbox"/> 成果は事業（実務）に反映できない	情報交換・研究等によって、課題の解決につながる。
	(2) 公共性の評価	(具体的内容)
	本研修及び調査・研究を通じて <input checked="" type="checkbox"/> 住民へ利益を還元できる <input type="checkbox"/> 住民へ利益を将来的に還元できる <input type="checkbox"/> 住民へ利益を還元できない	各課題等に対する解決策や対応策を学び、得た情報を町村へ提供することにより、それぞれの地域住民へ利益を還元できる。

5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了（完了）	■ 現状維持
実施予定時期					
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> 目標・目的未達成	<input type="checkbox"/> 目標・目的達成	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		■ 現状維持
実施予定時期					
実現性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業へ反映	<input type="checkbox"/> 事業に反映できない	<input type="checkbox"/> その他		■ 現状維持
実施予定時期					
具体的内容					